



令和7年度

茨城県優良図書紹介【小学校中学年向け】



『たい焼き総選挙』

新井けいこ/作、いちろう/絵（あかね書房）

小学生が、原価や利益、統計など、商売のあれこれを学びながら、たい焼き屋さんを応援します。小学生が力いっぱい努力する姿にうれしくなる作品です。あなたは、どんなたい焼きが好きですか。



『四角い空のむこうへ』

由美村嬉々/作、羽尻利門/絵（晶文社）

難病であっても、前向きに生きる少年と家族の姿に胸が熱くなります。四角い天窓から見る空の青さもすばらしいです。夢をあきらめない温かい気持ちと元気がわいてくるお話です。



『机の下のウサキチ』 岡田淳（偕成社）

小学生の一平は、おじいちゃんのしょさいの古い机の下にもぐりこむと、いつのまにか、ふしぎな野原にまよいこんでいた。そこで出会った、うさぎのウサキチ。ウサキチがなくなった、はねる力をとりもどすため、一平とウサキチは旅に出ます。さあ、二人の冒険の始まりです！



『いのちをまもる図鑑』 滝乃みわこ （ダイヤモンド社）

本書では、楽しいイラストとともに、自然災害や犯罪など身の回りの危険から命を守る方法を 76 個紹介しています。わかりやすく、もしもの時に役立つ本です。まずは、この本を読むことから始めてみませんか？



『犬にかまれたチイちゃん、動物のおいしゃさんになる』

今西乃子/作、あたちたち/絵 （岩崎書店）

かまれてもなお動物思いのチイちゃんが、人間とうまく友だちになれない動物のためのじゅういさんになるまでのお話です。動物相手でも、相手の気持ちを考えることが大切だと教えてくれる本です。



『ひき石と24丁のとうふ』 大西暢夫 （アリス館）

だれもいない山奥で、毎日24丁のとうふを作る、ミナおばあさん。実は、ほとんど目が見えません。手で動かす道具だけでとうふを作り続けていますが、いったいどんな道具で作っているのでしょうか？今日もミナおばあさんのとうふ作りが始まります。



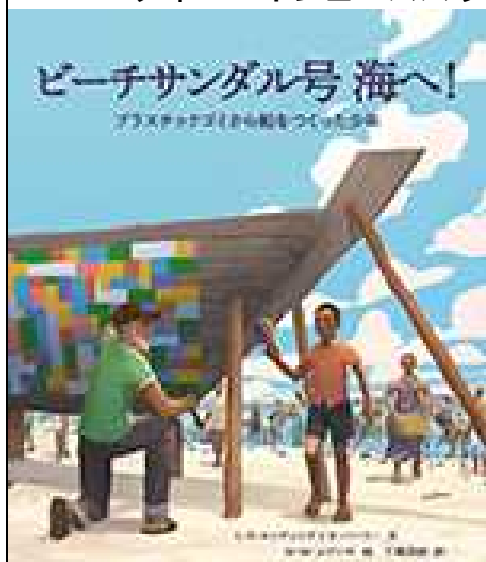
『うちのキチント星人』

佐藤まどか/作、中田いくみ/絵（フレーベル館）

理由があって、はとこの“あっくん”と一緒に暮らすことになった千歌。あっくんは、なんでもキチントしていないと気が済まない「キチント星人」だった！おおざっぱな千歌は、とにかく、変！うまくやっていけるかな・・・とゆううつな気分になってしまいますが・・・。

『ビーチサンダル号海へ!』

リンダ・ラービン・ロッディング/作、
ディーパイシュ・パバリー/文、マイケル・マシーラ・ムワンギ/絵、千葉茂樹/訳
（あすなろ書房）



ビーチサンダル号を作るきっかけから完成までの実際にあったお話です。美しい地球を守るためにはどうしたらいいのか、いまわたしたちにできることを考え、やってみませんか。



『ゴロゴロヤマネコ不動産』

藤重ヒカル/作、樋口モエ/絵（福音館書店）

かさとぼうしの店くわの実堂、路地うらのレストラン、小さなぬいぐるみ工場。ドングリが大好物の猫山さんがおすすめする物件と、ふしぎな動物たちにまつわる3つのお話です。読むとしあわせな気持ちになれますよ。



『や・い・ろ・の』

いまたあきこ/文、南波タケ/絵（文研出版）

都会の小学校に転校した大樹は、クラスメイトからなまりをバカにされ、さみしい毎日をすごしていました。ある雨の日の下校途中、竹やぶの中にたたずむ不思議な建物を見つけます。そこには、『や・い・ろ・の』と書かれたちょっと不気味な看板がかかっている……。



『おばあちゃんのかね色』

楠章子/作、あわい/絵（佼成出版社）

杏の大好きなおばあちゃんが、にんちしょうになってしまいました。前のおばあちゃんとはいろいろなところがちがっていて……。悲しい気持ちになりながらも、おばあちゃんらしくいられるように、杏は、おしゃれのお手伝いをはじめます。



『最後のシロクマ』

夢内明子/作、しろさめ/絵（金の星社）

ふたばとそうたは、不思議なカードに導かれ、ぜつめつが予想されるシロクマの住む世界にワープします。最後の1頭になった気持ちを想像しているシロクマ。いったいどんな世界に住んでいるのでしょうか？